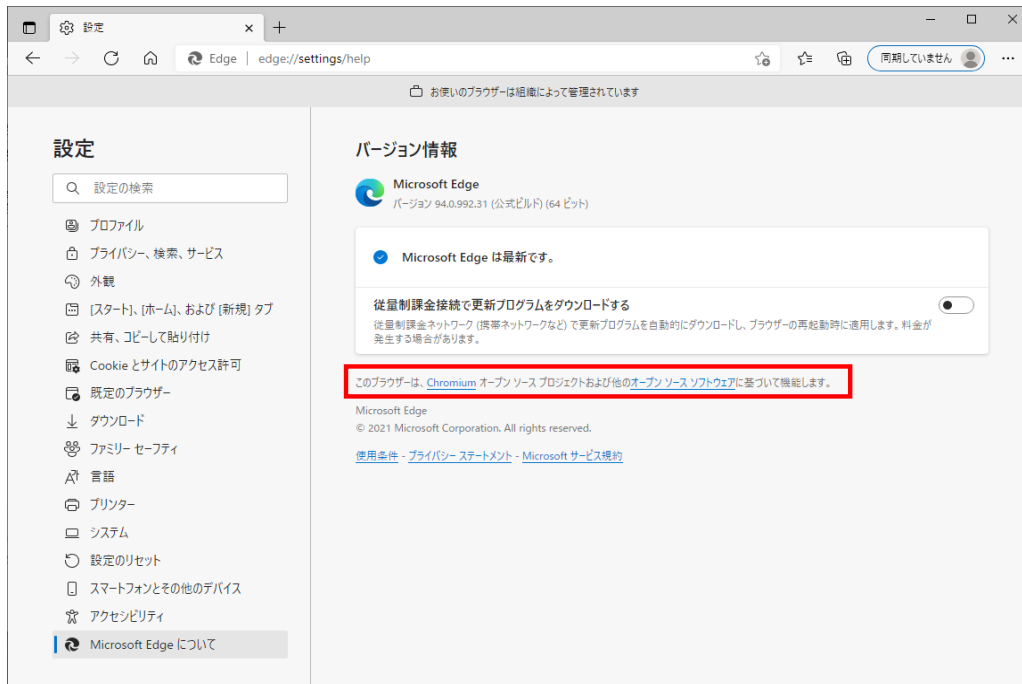


■ 前提条件

1. 設定にはOSの管理者権限が必要になります。
2. Microsoft EdgeがChromium版であることが必要になります。

Microsoft Edgeの設定画面から「Microsoft Edgeについて」を選択し、下記表示があることを確認してください。
表記がない場合、Chromium版へアップデートを行ってください。



3. 本設定手順は、PCのローカルグループポリシーを使用した手順です。

PCの設定（Edgeのポリシー、エンタープライズモードサイトリスト）がActive Directoryサーバのグループポリシーで集中管理されている場合は、本設定を行ってもIEモードが有効になりません。

PCがActive Directoryサーバで管理されているかご不明の場合、お客様のシステム部門等、PCの管理部門にご確認をお願いいたします。

ActiveDirectoryで管理されている場合は、管理部門にATMS製品のサーバのURLをサイトリストに追加頂くようご依頼ください。

追加内容は、設定手順の「2.1 エンタープライズサイトリストの設定」をご参照ください。

<ご参考>

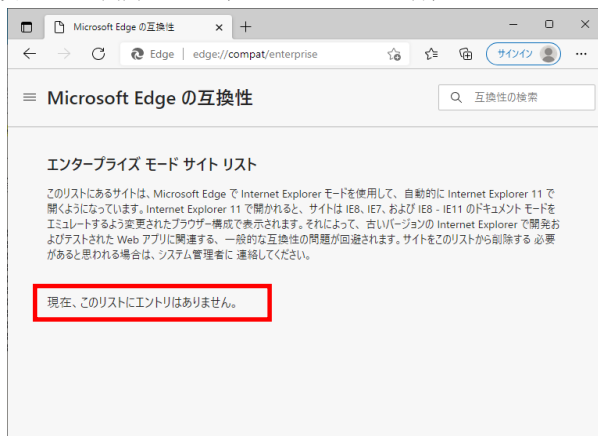
以下の手順でEdgeのエンタープライズモードサイトリストをご確認いただけます。

すでにサイトリストにエントリがある場合は、Active Directoryサーバで管理されている可能性がございます。

- ①Edgeのアドレスバーに以下を入力してください。

edge://compat/enterprise

- ②表示された画面において、エントリがない場合、エンタープライズモードサイトリストは管理されていません。



■ 設定手順

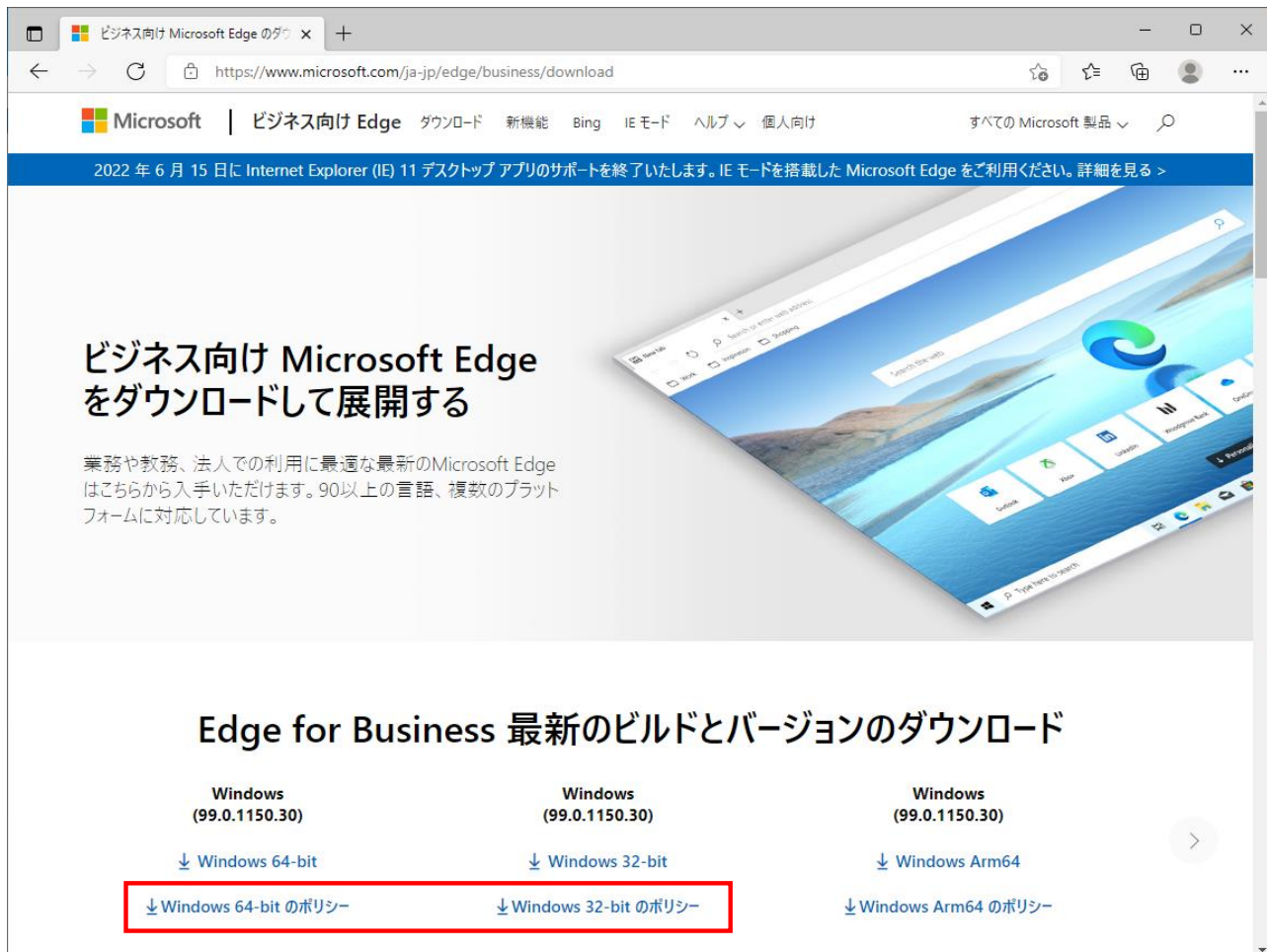
1. Edge IEモードの有効化

1.1 ポリシーファイルの取得

(1)以下のMicrosoftのサイトからご使用のWindowsに合ったポリシーファイルをダウンロードしてください。

<サイト>

<https://www.microsoft.com/ja-jp/edge/business/download>



1.2 ローカルグループポリシーの設定

(1) ポリシーファイルの配置

ダウンロードしたファイルを展開し、以下の場所に配置してください。

① 「windows¥admx¥msedge.admx」

C:¥Windows¥PolicyDefinitions

② 「windows¥admx¥ja-JP¥msedge.adml」

C:¥Windows¥PolicyDefinitions¥ja-JP

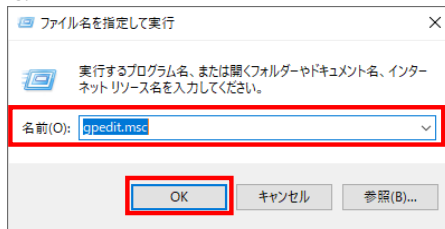
(2) ローカルグループポリシーエディターの起動

① スタートメニューを右クリックし「ファイル名を指定して実行」を実行してください。

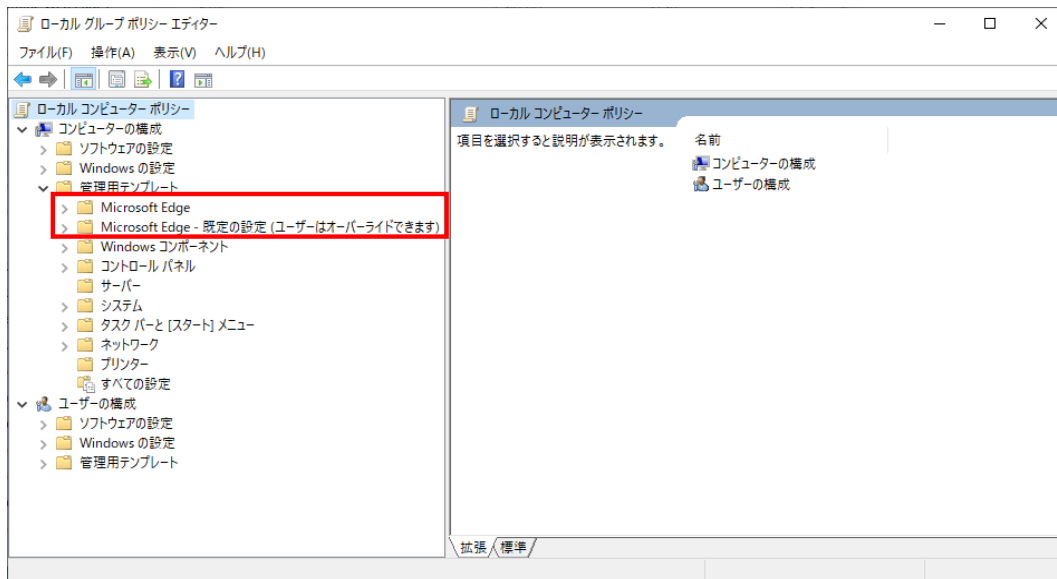
② 「名前」に以下のプログラム名を入力し、OKボタンを押してください。

<プログラム名>

gpedit.msc



ポリシーファイルの配置により、下図の管理用テンプレートが追加されます。



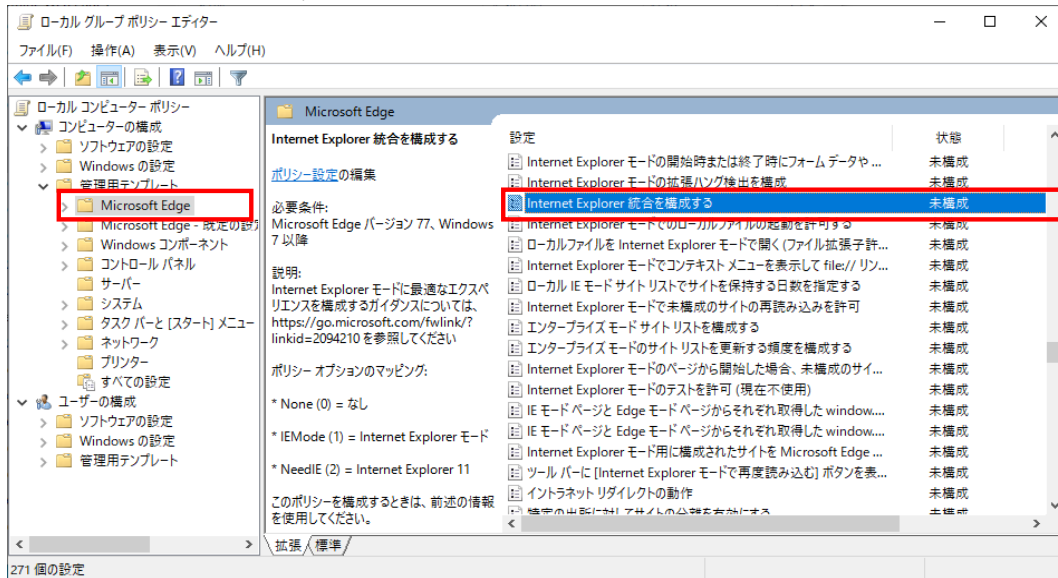
【別紙】ATMS製品へのMicrosoft Edge IEモードの設定について

(3) Edge IEモードに関するポリシーの設定

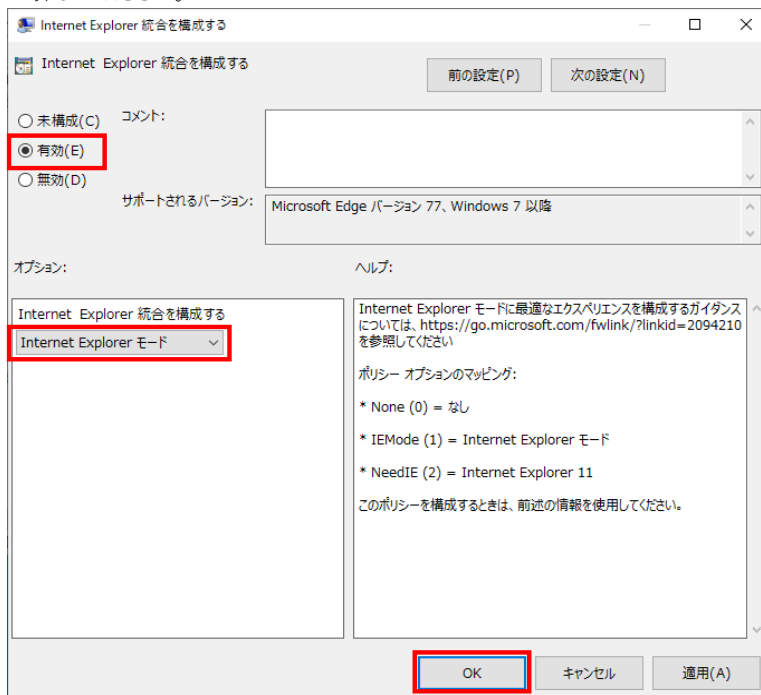
ローカルグループポリシーエディターで以下の操作を行います。

①左側ペインから「Microsoft Edge」を選択してください。

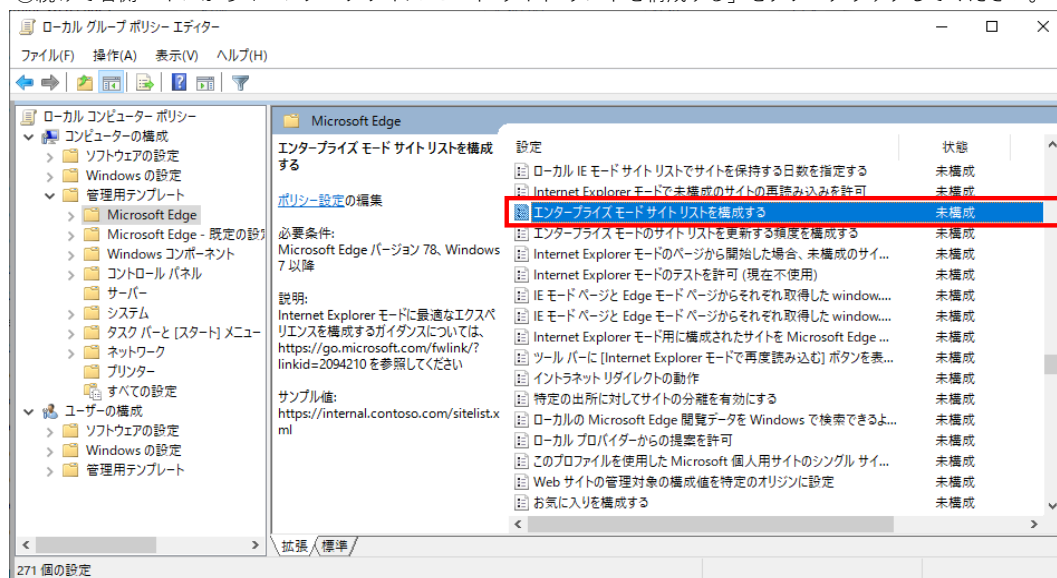
②右側ペインから「Internet Explorer 統合を構成する」をダブルクリックしてください。



③「Internet Explorer 統合を構成する」を「有効」とし、オプションに「Internet Explorer モード」を選択し、「OK」ボタンを押してください。

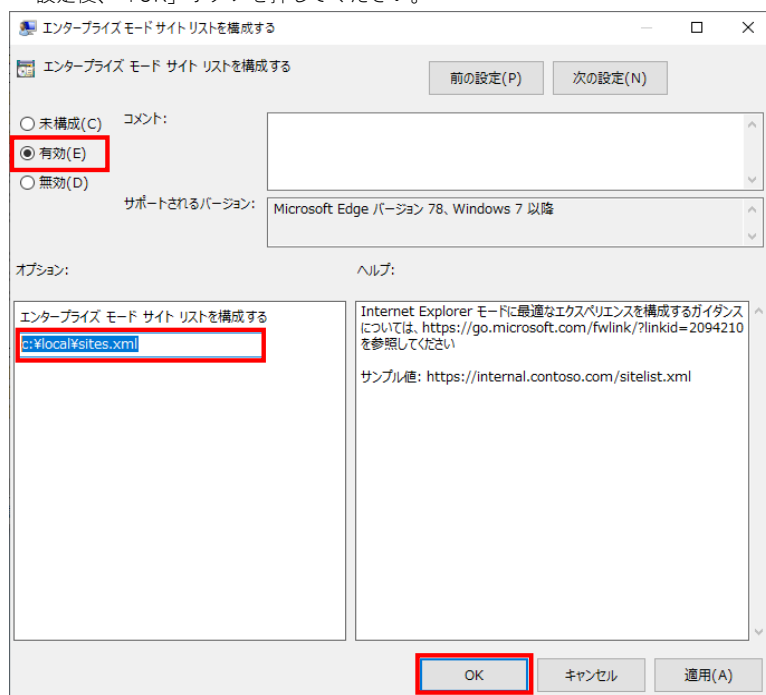


④続けて右側ペインから「エンタープライズ モード サイト リストを構成する」をダブルクリックしてください。



⑤「エンタープライズ モード サイト リストを構成する」を「有効」とし、オプションに任意のパスを設定してください。

設定後、「OK」ボタンを押してください。



【別紙】ATMS製品へのMicrosoft Edge IEモードの設定について

(4)PMVとContractEyesを連携する場合の追加設定

PMVとContractEyesを連携させる場合は以下の設定を追加で行ってください。

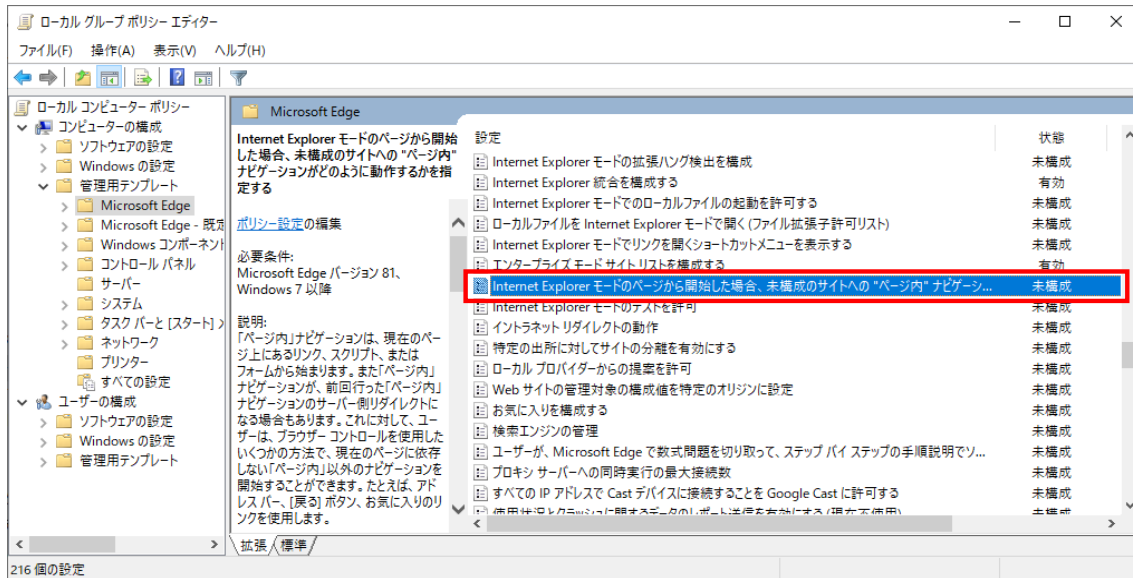
※PM2000とContractEyesを連携させる場合は本設定は不要です。

①前ページから引き続き、ローカルグループポリシーエディターで以下の操作を行います。

右側ペインから以下の設定をダブルクリックしてください。

「Internet Explorer モードのページから開始した場合、

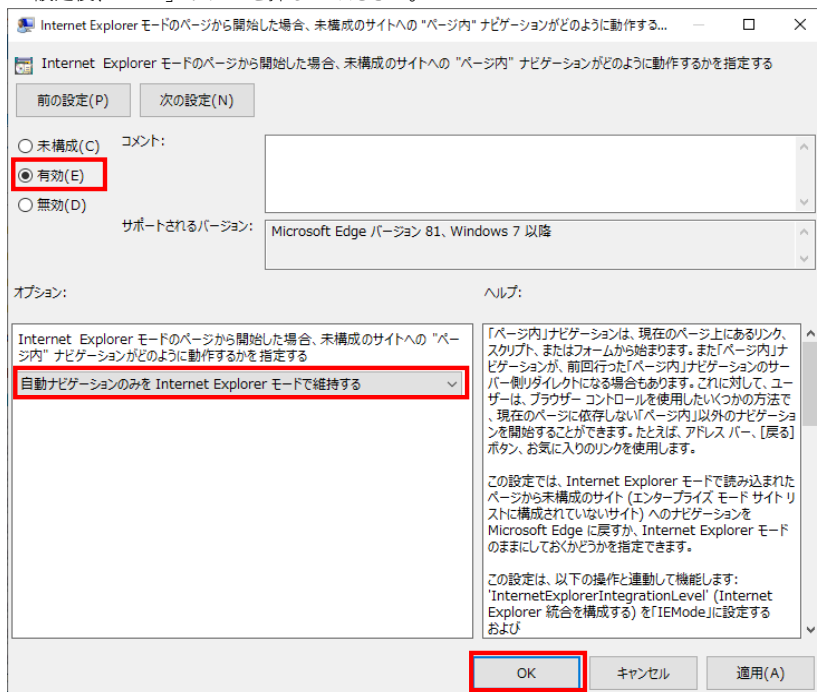
未構成のサイトへの「ページ内」ナビゲーションがどのように動作するかを指定する」



②「Internet Explorer モードのページから開始した場合、未構成サイトへの・・・を指定する」を「有効」とし、

オプションに「自動ナビゲーションのみを Internet Explorer モードで維持する」を設定してください。

設定後、「OK」ボタンを押してください。



2. IEモードの設定

2.1 エンタープライズサイトリストの設定

(1) Edge のサイトリストマネージャーでサイトリストを作成します。

Edge を起動し、アドレスバーに以下の URL を入力してください。

<URL>

edge://compat/sitelistmanager

①「エンタープライズ サイトリスト マネージャー」ペインから「サイトの追加」を選択してください。



②「サイトの追加」ダイアログからIEモードで表示する対象サイトを追加します。

追加する対象の製品により、以下の内容で入力し、「追加」ボタンを押してください。

本手順は、対象の製品、サーバの数だけ繰り返し実施してください。

②-1.PM2000

URL : 対象サーバのFQDN(※)
開く : IE モード
互換モード : IE8 エンタープライズ モード

②-2.PM2000以外

URL : 対象サーバのFQDN(※)
開く : IE モード
互換モード : 既定のモード

※FQDNは、URLのうち、ドメインを含むサーバ名を指します。

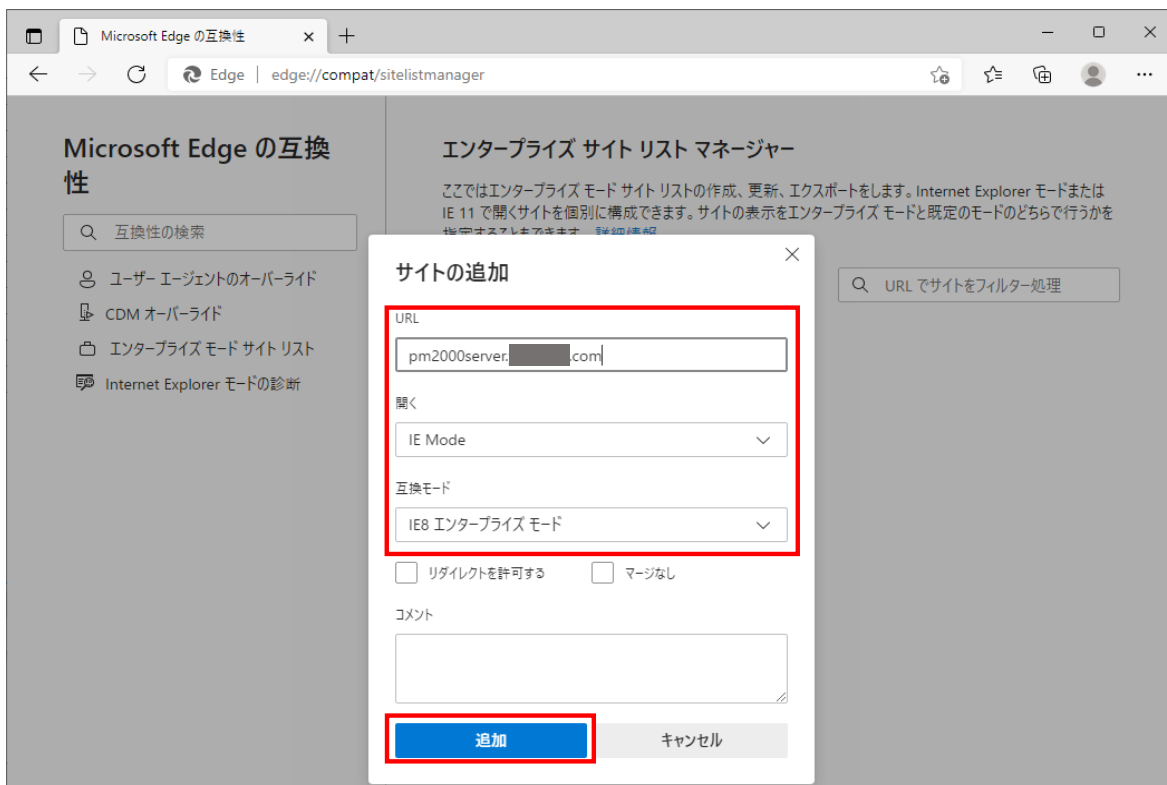
ATMSのサービス2製品の例を以下に示します。

例 1 : PROPASの場合

www.ip-saas.com

例 2 : PatentSQUAREの場合

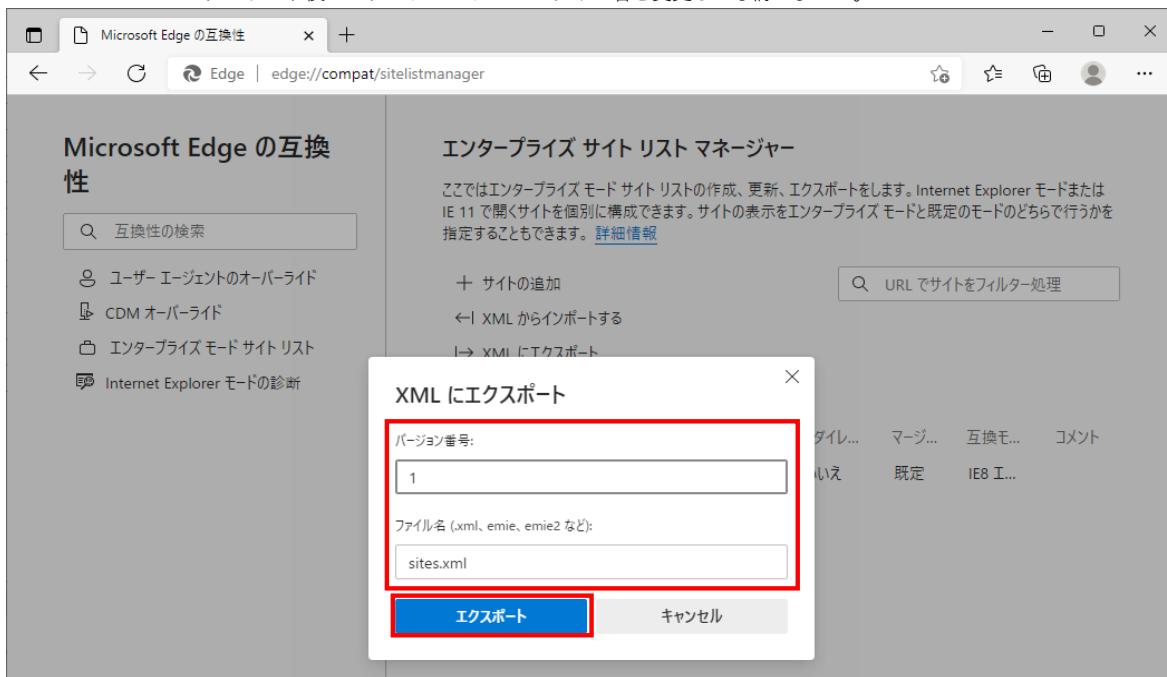
●●●.pat-dss.com (●●●の箇所はお客様ごとに異なります)



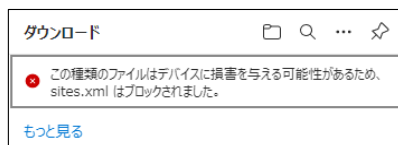
③「XMLにエクスポート」を選択してください。



④「XMLにエクスポート」ダイアログでエクスポートに必要な情報を入力し、「エクスポート」ボタンを押してください。
バージョン番号：XMLのバージョンを管理するための任意の値を設定してください。本内容は動作には影響を与えません。
ファイル名：1.2(3)⑤で設定したパスのファイル名を設定してください。
エクスポート後にエクスプローラーでファイル名を変更しても構いません。

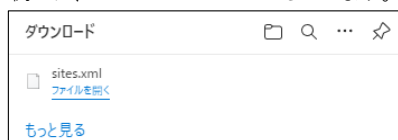


⑤ダウンロードがブロックされた場合、メッセージにマウスオーバーすると表示される3点リーダー「…」から、「保存」を選択してください。



⑥ダウンロードが完了したら1.2(3)⑤で設定したパスに配置してください。

例では、c:\local\sites.xmlとしています。



(2) サイトリストを適用します。

- ① 左側「Microsoft Edge の互換性」ペインから「エンタープライズ サイト リスト」を選択してください。
- ② 右側「エンタープライズ サイト リスト」ペインから「強制的に更新」を選択してください。

更新により、サイトのリストに登録したサイトが表示されます。



3. IEモードの確認

Edgeでサイトリストに登録したシステムを表示してください。以下はPM2000の例です。

①アドレスバーの左側にIEのアイコンが表示されていることを確認してください。

②IEのアイコンをクリックしてください。以下のように「Internet Explorerモードで開かれています」と表示されることを確認してください。

